

## 伊那市 官民共創の新しいまちづくり協議会

会議名	第 16 回 まちなかエリア高度化 WG			
開催日	2025 年 10 月 7 日(火)			
開催時間	開会	18 : 00	閉会	19 : 30
開催場所	市役所 5 階 501 会議室 オンライン併用			
出席者				
協議会・WG メンバー	会場：黒河内貴氏 O L：志知貴文氏、鈴木孝之氏、政金裕太氏、土田智氏、瀧内貫氏			
事務局・職員	会場：企画部企画政策課 織井邦明課長、有賀慎課長補佐、 村田和也新産業技術推進係長			
関係者	—			
欠席者	細谷啓太氏			
議事	1、次回、次々回「対話・つながり・実現の場」について			

議事項目	概要	次のステップ
1、次回、次々回「対話・つながり・実現の場」について		
まちなかエリア高度化 WG の「軸」について説明	<p>○WG メンバー 作成資料に基づき説明ー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去 2 回の「対話・つながり・実現の場」の内容について、KJ 法を使い「IDENTITY(魅力)」、「PLACE(場づくり)」、「METHOD(手段・方法)」というワードで整理し前回 WG で説明したが、それらのワードからの問いかけではわかりづらいのではないかと再考した。</li> <li>・もっと「対話・つながり・実現の場」の参加者に説明しやすく、議論の方向性となり、まちなかエリア高度化 WG の共通認識ともなり得る「問い」、イコール「軸」があるとよいと思った。</li> <li>・あらためて考えた 3 つの「軸」を例示してみる。</li> </ul> <p>&lt; 1 「歩きたくなるまち」ってどんなまち？ &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この WG でいう「まちなか」はやはり「通り町周辺」ということになる。それを再確認したうえで、「まちなか」に来る人を観察すると、やはり歩いていることに気づく。</li> <li>・前回の「対話・つながり・実現の場」の「まち歩き」ではいろいろな気づきがあることがわかった。歩いている中で目的地以外のセレンディピティ、偶然の出会いが生まれたりする。</li> <li>・「歩いて暮らせるまち」という意味ではなく、豊かな暮らし、新しい出会いがあるような、つい「歩き</li> </ul>	

	<p>たくなるまち」ってどんなまちだろうというのが1つ目の「軸」である。</p> <p>&lt; 2 「情報発信の場」ってどんな場所でどんな方法？&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今までの「対話・つながり・実現の場」には、既に何か取組をしている人、これから何かをやってみたい人が参加していたと思うが、その人たちがどこにいて、誰とつながりたいと思っているかがクリアになっていない。</li><li>・前回の「対話・つながり・実現の場」では情報をマップに集約するという情報発信の方法を体験した。</li><li>・どんな情報があって、どんな人が発信したいと考えていて、どんな方法で情報発信していくかを一緒に考えるというのが2つ目の「軸」である。</li></ul> <p>&lt; 3 「まちづくりの次世代が関わりたいまち」ってどんなまち？&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・次世代は高校生に限らないと考えている。実際にまちなかで新しくお店を始める人は大体 30 代が多い。そういった方々に「どうしてまちづくりに関わろうと思ったか」を聞くだけでも面白いと思う。</li><li>・この協議会は、高校再編をきっかけとした周辺の空間づくりというテーマで進んでいるが、そのテーマとなっている伊那弥生ヶ丘高校と伊那北駅をつなぐのがまちなかエリア高度化 WG であると考えている。</li><li>・そのつなぎに関わる次世代の人たちという意味で、高校生に限らず例えば 20 代～40 代を次世代と定義する。関わりのレベルは様々だが、「新しい事業を始めるにはどうしたらよいか」、「まちなかに来なくなるにはどうしたらよいか」、「まちなかに関わりたくなるにはどうしたらよいか」を考えるのが3つ目の「軸」である。</li><li>・次回「対話・つながり・実現の場」の方向性は、前回 WG の議論の通りでよいと思うが、対話する内容としては、この3つの「軸」から考えてみるのはどうか。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・3つ目の「『まちづくりの次世代が関わりたいまち』ってどんなまち？」は、コミュニケーションの話であり、広く言えば「どんな社会がよいか？」というところまで話が及びそうである。「どんなまち？」という問いかけでなく、関わり方に重きを置いて、例えば 20 代と 80 代といった「異世代同士が</li></ul>	
--	---	--

<p>次回、次々回 「対話・つながり・実現の場」 の大枠について</p>	<p>どう関わる？」といった問いかけでも良いかもしれない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「IDENTITY(魅力)」、「PLACE(場づくり)」、「METHOD(手段・方法)」は概念的な言葉すぎて、実際にプロジェクトが動き始めたときに拠り所にならない可能性がある。</li> <li>・この3つの「軸」は、「そもそもなぜこのプロジェクトが始まったんだっけ？」となったときに、戻るべき起点となる大きな3つの「島」というイメージと思った。</li> <li>・この3つの「島」は、今後5年、10年、20年と、まちに関わる人が入れ替わる中でもずっと持ち続けられる本質的な「問い」であると思う。</li> <li>・前回「対話・つながり・実現の場」の「まち歩き」では、「まち歩き」そのものに「問い」や「答え」がたくさん潜んでいて、「まち歩き」からいろいろなアイデアやつながりが生まれそうな予感がした。</li> <li>・前回「対話・つながり・実現の場」の「まち歩き」は、「まちづくり」の一つの答えとして示せたと考えており、あの「まち歩き」がどんな意味だったのかを整理していくと、整理してくれた3つの「軸」にたどり着くことができる。</li> <li>・さらに、官民共創の新しいまちづくり協議会が最初からキーワードとして挙げていた「ウォーカブルシティ」も見事に回収している。</li> <li>・3つの「軸」の提案は素晴らしいと思う。精度の高いKJ法によって、ずっと使える非常に良い「リサーチクエッション」、「軸」、「島」、「問い」にたどり着いたと思う。</li> </ul> <p>○WGメンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回「対話・つながり・実現の場」は、3つの「軸」をもとにグループに分かれてプロジェクトを考えて、次々回については、地元の方やその分野の専門家、経験者の実現に向けたアドバイスやサポートをもらうという大きな流れになっていると思うがいかがか？</li> </ul> <p>○WGメンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建付けそのものはよいと思う。1回でまとめるには時間が足りない。</li> <li>・次回「対話・つながり・実現の場」は3つの「軸」を起点にするということを示したうえで様々なプロジェクトに集約し、次々回はプロジェクトを進めるために専門家等の意見を取り入れて実装が目に見え</li> </ul>	
--	--	--

	<p>るところまで進めるという２段階に分かれて行うことについて、スケジュール感も含めて異論はない。</p> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・先日の伊那北駅前 WG の「対話・つながり・実現の場」に参加した方から「高校生のプレゼンがすごく良かった」という話を聞いた。同じく日本福祉大学のセミナーでも大学生の話がすごく良かった。</li><li>・参加して良かったなと思える「場」の後に、すぐ次の「場」が設定されていると「良かったから次一緒に行こうよ」という誘いにつながる。</li><li>・そういった意味で、次回「対話・つながり・実現の場」にはなるべく多くの若い人に参加してもらい、良さを感じてもらって周りを巻き込んでいく形ができたらい。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「対話・つながり・実現の場」の参加者に対し、３つの「軸」について直接的に考えてくださいと投げかけを行い、３つの「軸」グループに参加してもらうというより、WG メンバーがこの「軸」をしっかり持っていたいというイメージである。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・参加者は何かしらのプロジェクトに属するのだけれど、プロジェクトを進めるにあたり、３つの「軸」にはとてもよいアイデアや手法がプールされているというイメージだろうか。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・次回「対話・つながり・実現の場」の参加者がある意味抽象的なテーマについてどのように対話を深めていけるのか、あまりイメージができない。</li><li>・移住者、まちづくりに関心を持っている人、若い人が集まってプロジェクトを作りましようと言っても、まちなかに対するたくさんの不平不満が挙げられるだけでなかなか集約されずに最後までふわっとしたままで終わってしまいそうな気がする。</li><li>・次回「対話・つながり・実現の場」の前半、３つの「軸」について、すでに何かに取り組んでいる人に「なぜ始めたか」、「何が課題か」、「今後どうしたいか」といった内容で基調講演をしていただき、後半のワークショップで基調講演の内容に関わらず自分の関心のあることについて対話するという構成がイメージしやすい。</li></ul> <p>○事務局</p>	
--	---	--

	<ul style="list-style-type: none"><li>・意図的ではなくても基調講演によりある程度対話が誘導される恐れを感じる。</li><li>・前回の WG でアイデアを出した人が一番自分事として取り組みやすいという話があった。最初は 3 つの「軸」を示しつつ、今までの対話の中で出てきた内容からプロジェクトを作っていく形がよいと思う。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・参加者に「問い」がない場合、基調講演や事例発表の内容に対話が引っ張られる可能性はあるが、3 つの「軸」をしっかり持ったうえで基調講演や事例発表を聞いたら、3 つの「軸」に対して話の内容をどう役立てていくか、ふわっとしたものをどう推進させていくかといった具合に話の聞き方も変わってくるのではないか。</li><li>・いろいろなプロジェクトを生み出していくために基調講演や事例発表はうまく取り込めるかもしれない。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・過去 2 回の「対話・つながり・実現の場」での対話の経緯からすると、提案いただいた 3 つの「軸」には納得感があるので、「対話・つながり・実現の場」参加者に 3 つの「軸」を投げかけても不安感はない。</li><li>・次回「対話・つながり・実現の場」は作戦会議だと思っている。</li><li>・例えば WG メンバーを入れて 20 人くらいの少人数の参加でも全然 OK で、その中で 3 つの「軸」に基づいて具体的なプロジェクトを生み出す。</li><li>・そのプロジェクトに対して人を呼んでくる次々回「対話・つながり・実現の場」のタイミングで基調講演などを開催すればよいと思う。</li><li>・より多くの人に訴えかけたいならば、単純に話を聞いてみたいくらいのライトな人たちも参加しやすいような次々回「対話・つながり・実現の場」の構成にした方がやりやすいと思う。</li><li>・次回は「作戦会議」と、次々回は「基調講演なども含めたプロジェクト実装のキックオフ」と分けるとスッキリすると思う。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・作戦会議という表現をかみ砕くと、まちなかエリア高度化 WG としての意思確認の場だと思う。参加者には、3 つの「軸」で行こう！という意思確認、意</li></ul>	
--	---	--

<p>次回、次々回 「対話・つながり・実現の場」 の構成について</p>	<p>思決定の作戦会議に参加したという感覚を持ち帰ってほしい。</p> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・オーソドックスな進め方は、まずは興味関心のある「軸」についてグループで対話を行う。</li><li>・グループとの相性、自分の興味関心によって1回程度グループを変われるということを伝えたくて対話を進めていく。</li><li>・3つの「軸」グループ+4つ目の「3つの『軸』に当てはまらない何を話してもよい」グループを作る。</li><li>・大きく2つのタームに分けて、前半のタームではたくさんプロジェクトを出して、その中で何をするか集約し、後半のタームでは集約されたプロジェクトに具体性を出す。この2つができると作戦会議になると思う。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・プロジェクトが具体的になると次々回「対話・つながり・実現の場」に誰を呼ぼうという話ができる。</li><li>・次回「対話・つながり・実現の場」で具体的なプロジェクトができ、次々回「対話・つながり・実現の場」に専門家を呼ぶとすれば、次回できあがるプロジェクトは3つや4つのイメージか。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・それぞれの「軸」において、一旦注力するのはこれかなというプロジェクトが1つずつできて、全部で3つ程度が理想である。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・チラシにも3つの「軸」をしっかりと明記し、そこに関心がある人に集まってもらうようにした方がよいのではないか。</li><li>・いきなりガチの「議論の場」みたいに受け止められると参加しにくいので、3つの「軸」は明示しているけれども参加のハードルが低くなるようなチラシになるよう発信に工夫が必要である。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・次々回「対話・つながり・実現の場」の日程、基調講演の内容などを先に確定してしまっ、その前段で作戦会議をやりましょう！というチラシを作成するのもありかもしれない。</li><li>・次回、次々回の内容が事前に両方見えていると、このタイミングで参加してアクションプランをそっと</li></ul>	
--	--	--

<p>次回「対話・つながり・実現の場」のタイムスケジュール、WGメンバーの分担</p>	<p>応援しようとか、作戦会議をやっているところを見てみたいとか考えることができる。</p> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門家の話を聞くのは、リテラシーを高める効果がある。どんな専門家と呼ぶのかは予算に影響される。市でどれだけ講師料を払えるかが問題となる。</li> </ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回「対話・つながり・実現の場」の参加者の中から、この専門家呼びたいという意見が出てくるのがよい。スケジュール的に忙しいかもしれないが、参加する人にとっては市の予算を使って話を聞いた人と呼べるならば参加するモチベーションになる。</li> </ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回「対話・つながり・実現の場」の最後に、次々回誰の話を聞いてみたいですかというワークをやってもよい。</li> </ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次々回のことまで決めてチラシを作成するのはハードルが高そうなので、まずは次回のチラシを作成することにする。</li> </ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おっしゃるように、チラシで「作戦会議」が前面に出ると、一部の人たちだけで話が進んでいくように見えてしまう。例えば「2月頃にみんなで広く勉強する会をやります」というニュアンスが伝わると参加しやすい。</li> </ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次々回「対話・つながり・実現の場」が2月頃開催でよいのであれば、次回参加者の「こんな人に話を聞いてみたい」という要望を受けて専門家に交渉できるのではないか。</li> </ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回「対話・つながり・実現の場」では、3つの「軸」を基に2タームのグループワークをやって、3つ程度の具体的なプロジェクトを作り上げ、そのプロジェクトについて誰に話を聞きたいかということまでを決めるとして、進め方を決めていきたい。</li> </ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主観が入らないKJ法という手法を使って、3つの「軸」を整理していただいている。冒頭で、ここに</li> </ul>	<p>○次々回「対話・つながり・実現の場」の開催日について、WGメンバーの都合を確認する。</p>
---	--	---

	<p>たどり着くまでの振り返りを割としっかりめにやりたい。</p> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・この3つの「軸」にたどり着くまでの経緯を説明するには、過去2回のワークショップの内容を話さなければならない。余裕を持って冒頭15分程度で説明したい。</li></ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・タイムテーブル案を以下のとおり作成したので確認いただきたい。</li></ul> <p>-----</p> <p>1) 3つの「軸」を元にテーマや取組の意見出し (いろいろな意見から集約、組合せ)3案程度まで ※テーブル移動 OK</p> <p>2) 1)で出された案から具体的にいつどこで何をやるか ぐらいのざっくりしたまとめ</p> <p>3) その企画をさらにブラッシュアップするための講師 案出し</p> <p>-----</p> <p>開会 5分 今までの振り返り 15分 グループ移動 5分 1番目の対話 40分 休憩 10分 2番目の対話 40分 休憩 10分 3番目の対話 15分 ラップアップ 15分 連絡 5分 合計 160分</p> <p>-----</p> <p>&lt;以下担当にWGメンバーの振り分けをおこなった&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●全体進行</li><li>●今までの振り返り</li><li>●グループファシリテーター</li></ul> <p>&lt;1「歩きたくなるまち」ってどんなまち？&gt;</p> <p>&lt;2「情報発信の場」ってどんな場所でどんな方法？&gt;</p> <p>&lt;3「まちづくりの次世代が関わりたいまち」ってどんなまち？&gt;</p> <p>&lt;4「その他」&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●ラップアップ</li><li>●記録</li></ul>	
--	---	--



<p>○チラシのイメージ</p>	<p>WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まちづくり作戦会議」みたいなイメージのチラシとして、3つの島があって旗が立っているようなイメージがよい。</li> </ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3つのテーマそれぞれにキーワードがあるとイメージしやすくなる。</li> </ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・KJ 法の過程で使った今まで出たキーワードを散りばめてそこに島（「軸」）が浮かんでいるようなイメージ</li> </ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そこに例えば「まちなかの緑化」、「公園化」、「ランドスケープ」、「治水」、「異文化交流」といった今までそれほど強く出てはいないけれどもまちづくりのポイントとなるキーワードを混ぜて、多しリードするような仕掛けにしてもよい。</li> </ul> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さきほど、3つ目の「軸」＜「まちづくりの次世代が関わりたいまち」ってどんなまち？＞について、「異世代交流」というワードの方がよいのではないかとの意見があったが、チラシにはどう記載するのがよいか。</li> </ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの人に参加してもらいたいなら「次世代」というワードの方がよい。島の周りのキーワードとして「異世代交流」と明記すればよいのではないか。</li> </ul> <p>○WG メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回「対話・つながり・実現の場」スタート時間は13:30 とする。</li> <li>・10 月下旬にもう一度 WG を開催し、チラシの最終確認、次回「対話・つながり・実現の場」の進め方の協議、次々回「対話・つながり・実現の場」の内容検討を行う。</li> <li>・チラシ(案)について WG メンバーに作成いただき、次回 WG までの間にもスラックで都度確認していく。</li> </ul>	<p>○チラシイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まちづくり作戦会議」みたいなテーマ</li> <li>・KJ 法の過程で使ったキーワードが散りばめられて、その中に3つの「島」が浮かんでいるイメージ</li> </ul> <p>○WG メンバーに次回「対話・つながり・実現の場」チラシ(案)を作成いただく。</p>
------------------	---	---

■今後のスケジュール

<次回 WG>

- ・ 10 月 31 日(金)18:00～ 市役所 1 階 101 会議室（オンライン併用）

<次回「対話・つながり・実現の場」>

- ・ 11 月 30 日(日)13:30～ 市役所 5 階 501、502 会議室

<次々回「対話・つながり・実現の場」>

- ・ 2 月頃？